

## 現在の学校の状況

(令和元年9月1日現在)

### ■学校数

小学校 6校  
中学校 4校

### ■児童生徒数・教職員数 (単位：人)

小学校	児童数	教職員数
大宇陀小	223	25
菟田野小	148	22
榛原小	299	35
榛原東小	269	27
榛原西小	87	16
室生小	124	18
合計	1,150	143

中学校	生徒数	教職員数
大宇陀中	110	24
菟田野中	91	22
榛原中	336	36
室生中	82	25
合計	619	107

### ■スクールバス登校者数

小学校	バス登校 (人)	割合 (%)
大宇陀小	126	56.5
菟田野小	45	30.4
榛原小	0	0
榛原東小	31	11.5
榛原西小	38	43.6
室生小	85	68.5
合計	325	28.2

中学校	バス登校 (人)	割合 (%)
大宇陀中	0	0
菟田野中	0	0
榛原中	12	3.5
室生中	43	52.4
合計	55	8.8

### ■スクールバス台数

18台



特集

# 子どもたちの未来を創る教育

～あなたの未来は、自らの手のひらにある～

問 教育総務課 (☎82・3973 / IP ☎88・9259)

### 次の時代を見据えて

小学校では、今までなかった外国語(英語)やプログラミング教育が導入されています。宇陀市では、重点事業として、今年度から1年前倒しで、奈良県でも先進的に全ての

小学校でOST(オンライン・スピーキング・トレーニング)の導入やプログラミング教育の先行実施を行っています。子どもたちには、これらの新しい学習に楽しんで取り組んでほしいと願っています。

元気なあいさつ、笑顔あふれる学校・職場づくり

現在、教育委員会ではこの言葉スローガンとして掲げ、来年度小学校、続いて翌年度中学校でスタートする新学習指導要領へ対応しながら、子どもたちの「社会人としてよりたくましく生きる力」を培うために様々な事業に取り組んでいます。さらに、宇陀市の未来を創る子どもたちが、0歳から15歳に渡って主体的に学び続け、自立した社会人に育つよう、学校・家庭・地域・関係機関と連携した教育の充実に努めていきたいと考えています。

### わたしの願い

人はみんな誰もが、その人しかできない、その人しか与えられない能力を必ず持ち、その人にしか担えない使命を持って生まれてきていると言われています。私は、一人ひとりが与えられている「天分・使命」を精一杯いかして欲しいと思っています。そして、自分自身の「生きる力」や「夢」もまた、自らの手のひらにあると思います。

### 学力向上支援・多様なニーズへの対応のために

学力向上の支援のため、今年度から、市内全ての小学校で「放課後学習支援事業」として、放課後、子どもたちに対して、地域の方の力をお借りし、学習支援を行っています。中学校では、放課後や土曜日を利用して学習支援をすでに実施しています。また、今年度の4月、榛原中学校に通級指導教室「ひだまり」を開設することができました。小学校の通級指導教室「ほほえみ」と連携して、教育ニーズに対応し、切れ目のない教育支援ができるよう、今後も取り組んでいきたいと考えています。



これからも教育委員会では、新しい時代を担う子どもたちに必要な力をつけると同時に、子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばせるよう、取り組みを進めて行きたいと考えています。



宇陀市教育長 福田裕光

～ALTとは～  
外国語を母国語とする外国語指導助手。小中学校などでの外国語授業において、学級担任や教科担当教員を補佐し子どもたちに外国語を教えています。

## 市で活躍するALT (外国語指導助手)



▲ブレット (中学校) ▲ジョー (幼稚園等、小学校) ▲ベス (中学校) ▲ジョセフ (幼稚園等、小学校)

子どもたちみんなに、英語に慣れ親しんでもらいたいです。  
正しい言語を話すこと、またコミュニケーションをとることも大切です。  
幼児期には、英語を聞く音の学習も必要です。  
一緒に楽しみましょう！



# 英語

**幼児期から英語や外国文化に触れることが大切**

市では市内全小中学校にALT (外国語指導助手) を配置し、学級担任と連携して授業を行っています。ALTをとおして、英語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、積極的なコミュニケーションを図ろうとする意識の育成とコミュニケーション能力などの育成を図ることが目的です。

来年度から、小学校5・6年生の英語が正式教科になり、3・4年生には外国語活動が取り入れられます。以前から小学校にはALTが年間10回〜30回、幼稚園などにも訪問し、英語活動を行っています。

また、今年度から市内全ての小学校で「OST (オンライン・スピーキング・トレーニング)」を行っています。フィリピンとインターネットをつなぎ、直接現地の方と英語だけで会話をしています。

子どもたちは緊張しながらも徐々に慣れ、楽しんで授業にのぞんでいます。英語が伝わったときの達成感も味わいながら、これからの英語に興味を持ってもらいたいです。

## イングリッシュビレッジ

～英語村で遊ぼう 2019～

11/23 開催

市内小学校3～6年生を対象に、外国人と異文化の交流や、外国語を身近に感じてもらうことを目的に毎年開催しています。



アメリカ、カナダ、イギリスなど、いろいろな国のALTと一緒にパスポートを作り、ワールドツアーへ出発！ゲームを通じて外国の先生と交流します。

## 「うきうきダンス」英語バージョン完成！

幼稚園等では、「ハローイングリッシュ」として、ALTが英語活動を行っています。今年度「うきうきダンス (英語版)」を導入しました。子どもたちが英語に親しむ時間を増やし「聞く、話す」を体験しながら、小中学校へとつながることを願っています。



# プログラミング

**ペッパーと学ぶプログラミング**

今日、コンピューターは家電や自動車など様々なものに内蔵され、私たちの暮らしを豊かに便利にしています。子どもたちが活躍する近未来では、それらを効果的に活用して、様々な課題解決を図る力が重要となります。そのためには、それが「魔法の箱」ではなく、人が命令を与えることによって動作することを理解する必要があります。

このようなことから来年度から小学校においてもプログラミング教育が導入されます。市では1年前倒しして、今年度から、市内全ての小学校で、本格実施しています。そのために、昨年度から教材や教員指導などの準備をはじめ、菟田野小学校をモデル校に授業方法の研究を行いました。

現在、教育委員会にはペッパーが勤務しています。各小学校に行きプログラミング教育の教材として活用するほか、様々な行事に参加するなど、プログラミング教育の広告塔として活躍しています。

## プログラミング教材



◀コード・A・ピラー  
イモムシ型のロボットで体のパーツが、前、右、左、音楽をならすなどの動きを指示します。順番を変えてつなげると、違った動きをします。



◀エムボット  
様々なセンサーを搭載した、車型のロボットです。組み立てる・走らせる・プログラミングするなど幅広く学ぶことができます。



子どもたちはこんな教材を使って、プログラミングを学んでいます。



◀メッシュ  
明るさや温度、人感など様々なセンサーを組み合わせて、身のまわりの環境の変化に応じたプログラミングをすることができます。

※9月26～27日、インテックス大阪で開催された「関西教育ITソリューションEXPO」で、先進事例として菟田野小の取り組みが紹介されました。

▲教育総務課 小松原指導主事



# 放課後学習支援

## 子どもの未来のために、地域と学校が一緒になって

各学校で学習支援活動を受け入れているのはご存じでしょうか？  
今年度より「学校・地域パートナーシップ事業」で、市内全ての小学校において、放課後2時間、学習支援員の方が、子どもたちに学力向上の支援をしてくださっています。  
現在、大学生から60歳代まで約10人の方がおられます。  
教員免許状を持っていなくても全く大丈夫です！子どもが大好きな方、

子どもたちのために、力を貸してください！



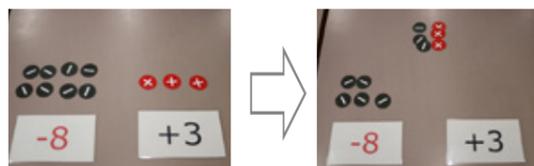
▲教育総務課 滝元指導主事

ぜひ小学校に地域の方の力を貸していただけないでしょうか？  
子どもたちだけでなく、学習支援員の方も笑顔になる事業です。  
興味ある地域の皆さん、お気軽に教育総務課へ問い合わせください。お待ちしております。

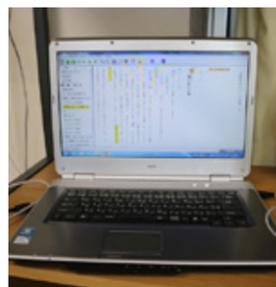
# 通級指導教室 (ひだまり教室)



中学校担当 九鬼先生



▲**プラマイチップ** (九鬼先生自作の教材)  
子どもたちの困りごとに合わせて、少しでも理解出来るよう、その子にあった学び方を提供。



◀**デージー教科書**  
読み書きが苦手な子どもたちのため、読み上げ機能がある電子教科書。読み上げている部分の色が変わり、わかりやすく表示されます。

## 宇陀市初 中学生のための通級指導教室「ひだまり教室」と連携

通級指導教室とは、通常学級に在籍している児童・生徒を対象に、読み書きや発音、学習など、それぞれの困りごとや課題に合わせた指導を受け、改善を図ることを目的とした教室です。  
授業のほとんどはみんなと一緒に通常学級で学び、週に何時間かその教室に移動して、その子に合った「学び方」を学んでいます。  
これまで市には榛原小学校に「ほほえみ教室」として、通級指導教室が設置されていましたが、今年度から榛原中学校にも「ひだまり教室」が新設されました。  
これにより、小中学校を通じての通級による指導が可能となりました。また、子どもたちそれぞれの課題や困難さに対する理解と指導がさらにすすむことが期待されます。

## いじめの未然防止 早期発見・早期対応



宇陀市いじめ防止推進協議会

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害するだけでなく、その心身の健全な成長や人格形成に深刻な影響を与え、その生命または身体に危険を生じさせるおそれがある重大な人権侵害です。  
市では、昨年8月、いじめ防止等のための基本的な方針として、「宇陀市いじめ防止基本方針」を策定しました。また、11月には、いじめ防止等のための協議会等を組織するための、「宇陀市いじめ防止推進協議会等条例」を制定しました。  
これらの組織等も活用しながら、市としていじめを許さない学校づくりをしていきたいと思っています。



▲教育委員会 事務局長 中西

【宇陀市いじめ防止推進協議会】  
法務局・警察・小・中学校長・教育委員会事務局等の10人で構成。いじめ防止等に関係する機関および団体の連携を図り、対策等について、意見・情報交換を行っています。  
【宇陀市いじめ問題等対策委員会】  
弁護士・学識経験者・臨床心理士・社会福祉士の5人で構成。重大ないじめ問題が発生した場合、事実関係の調査審議等を行います。  
宇陀市において平成30年度のいじめの認知件数は小学校で163件・中学校で21件でした。宇陀市では、いじめの芽や兆候もいじめとして正確に認知し、しっかりと対応していきます。そして子どもたちや保護者の思いに寄り添いながら、学校・関係機関と連携し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。  
※文部科学省は、いじめの認知件数が多い学校について教職員の目が行き届いていることの証と考えています。

教育委員会では、子どもたちの未来を創るため、様々な取り組みをとおして、子どもたちの成長の支援を行っています。  
今後とも変わらぬご支援とご協力をお願いします。



小学校担当 高木先生



▲**音声付教科書**  
読みに困難を持つ子どもたちを支援する「見て」「聞いて」読む教科書。

みんなと同じ教科書の紙面上に、見えない2次元コードを重ねて印刷されています。音声ペンでタッチすると朗読音声再生されます。



◀**プレイルーム**  
五感を通して、注意・集中する力を養ったり、力の加減の仕方を練習したりします。子どもたちに大人気の部屋です。